

資料 幼児期における人権学習プログラム (人権教育推進プラン(大阪府教育庁：平成30年3月改定)より)

領域	自分と自然や社会との関わり			
	自分と他人との関わり			
	自分自身に関すること			
目標	<p>自分の良さを知り、明るく伸び伸びと行動し充実感を味わうことができる。</p> <p>見通しを持って、自ら健康で安全な生活を送ることができる。</p>	<p>身近な人と触れ合い、共感し合う体験を通して自分が大切にされていることを知る。</p> <p>他人との関わりの中で相手を尊重する気持ちを持って行動できる。</p>	<p>豊かな感性を持って、感じたことや考えたことを表現しようとしたり、相手の話を聞いたりすることを通して、伝え合う喜びを味わう。</p>	<p>自分の周囲にある自然や周りに起こる事柄について積極的に関心を持ち、それを生活の中に取り入れていくことができる。</p>
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の興味・関心、ものの見方、感じ方、表現の仕方を大切にできるようにする。</li> <li>・様々な遊びの中で十分に体を動かすことで、様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</li> <li>・健康な生活のリズムや必要な生活習慣を身に付け、自分の健康や病気の予防に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の人々など自分の生活に関係の深い様々な人に親しみを持って接し、大切にされている自分に気付く。</li> <li>・友達や先生との遊びや共同作業を通して、一緒に遊ぶことの楽しさや、充実感・達成感を味わい、愛情や信頼感を持つ。</li> <li>・友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。</li> <li>・友達との関わりの中で生じるトラブルに対し、解決の方策やルールについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活で使う言葉が分かるようになるとともに文字に対する興味や関心を持つ。</li> <li>・したこと、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたことなどを自分の言葉や様々な方法で表現する。</li> <li>・生活の中で豊かなイメージを持ち、様々な表現を楽しむ。</li> <li>・自分の思ったことを相手に伝え、相手の話を聞くことで伝え合う喜びを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人々の様子や動植物、自然に親しみ、触れ合う中で、様々な事象に興味や関心を持つ。</li> <li>・動植物の世話を通して、生命の尊さに気付き、大切にしようとする。</li> <li>・疑似体験や身近にあるものを使った遊びによって豊かな発想や創造力を発揮し、生活に取り入れようとする。</li> </ul>

資料 小学校低学年における人権学習プログラム (人権教育推進プラン(大阪府教育庁：平成30年3月改定)より)

領域	自分と社会との関わり			
	自分と集団との関わり			
	生命の大切さ・自分と家族との関わり			
目標	生命の大切さについて学ぶとともに、家族の一員としての自分に気付く。	友達の良さや違いを認め合い、互いに助け合う中で、人間関係づくりの基礎を学ぶ。	地域の人との出会いや活動を通して、自分と社会とのつながりに気付くとともに、社会生活上の基礎的なルールを身に付ける。	様々な国や地域の文化や生活に触れ、その違いを認め合うことによって異なる文化への理解を深める。
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の心と身体を大切だと思ふ気持ちを育てる。</li> <li>・動植物の世話をしたり、生活の中で自然と触れ合ったりする中で、生命の尊さを知り、生命あるものや自然環境を大切にしようとする。</li> <li>・自分の生活や成長には多くの人々の支援があることに気付き、感謝の気持ちを持つとともに、自分も友達もそれぞれがかけがえのない存在であることを理解する。</li> <li>・家族の一員としての自覚を持ち、主体的に家庭生活に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活での挨拶や言葉かけ、遊びなどを通して自分から友達とつながろうとする。</li> <li>・人にはそれぞれの好みや考えなどがあることを知り、互いの「自分らしさ」を認め合い、大切にしようとする。</li> <li>・相手の良さや頑張りを見つけ、認め合うことで、それぞれが自信を持てるようにする。</li> <li>・障がいのある友達との交流や遊びを通して、互いの良さや頑強りに気付くとともに、互いに支え合う関係を築こうとする。</li> <li>・友達との間で起こるトラブルに対して、友達の行動や表れだけを見るのではなく、自分から素直に気持ちを出し合い、理解し合う中で、人を信じることの大切さに気付く。</li> <li>・遊びや行事などをみんなでやり遂げたという充実感が持てるよう、自分たちで決まりを工夫するとともに、集団生活におけるルールの大切さを学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の文化に触れるとともに、地域社会の移り変わりや昔の人々の生活について知る。</li> <li>・高齢者との触れ合いを通して、優しさやたくましさを感じ取り、温かい心で接しようとする。</li> <li>・地域には高齢者や障がいのある人が暮らしていることを知るとともに、一人ひとりが安心して暮らしていくためには、何が大切かを考えようとする。</li> <li>・家庭や地域社会との日常的な関わりの中で起こる身近な出来事などを通して、公共心や約束や決まりを守る態度を身に付ける。</li> <li>・情報モラルの基礎を培うため、人の心を傷つける言葉や行動について考え、望ましい態度について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界には様々な言葉や習慣、名前、遊び、音楽、服装、食べ物などがあることを知るとともに、異なる文化や生活に関心を持つ。</li> <li>・日本には多くの国や地域の人が住み、自分の周りに外国の人がいることを知る。</li> <li>・違いを認め合うとともに、人間として共通する思いや願いがあることを知ろうとする。</li> </ul>

資料 小学校高学年における人権学習プログラム (人権教育推進プラン(大阪府教育庁：平成30年3月改定)より)

領域	男女平等	子どもの人権	障がい者の人権	同和問題(部落差別)	在日外国人の人権・国際理解	様々な人権問題
目標	<p>固定的な性別役割分担意識の問題点に気付くとともに、男女が互いに尊重し合うことの大切さを理解する。</p>	<p>基本的人権について学習し、互いの人権を尊重し合うことの重要性を理解する。</p> <p>自分らしさや自分のよさに気付くとともに、相手の立場に立って考える態度を身に付ける。</p>	<p>障がい者が生活する上で、社会には様々な障壁や、障がい者に対する偏見や決めつけがあることに気付き、全ての人が住みやすい社会づくりについて考える。</p>	<p>同和問題(部落差別)を自分たちの生活と関連づけて考えることにより、社会の中にある差別や偏見の不合理さに気付き、基本的人権の大切さについて学ぶ。</p>	<p>日本には、様々な民族や国籍の人たちが住んでいることを理解するとともに、身の周りにおける差別や偏見の不合理さに気付き、また、それぞれの文化や考え方を尊重し、共に生きることの大切さを学ぶ。</p>	<p>身の周りの様々な人権問題や社会の変化の中で新たに生じてきている人権問題に気付き、その解決に向けた活動について考える。</p>
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの「自分らしさ」を尊重し合える関係をつくろうとする。</li> <li>自分の身の周りの生活から、固定的な性別役割分担意識を見直し、互いに協力しようとする。</li> <li>職業、スポーツ等に見られる社会にある性別役割分担意識が変わろうとしている事実を調べ、男女が共に生きる社会について考える。</li> <li>家庭生活において、家族の一員としての自覚を持ち、相互の協力のもと、よりよい家庭生活をつくっていかうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法に規定された基本的人権について基礎的な内容を理解する。</li> <li>基本的人権の具体的な内容が、暮らしの中にどう生かされているのかを考えようとする。</li> <li>「児童の権利に関する条約」の趣旨について学び、その考え方を理解する。</li> <li>生命の大切さを認識し、自他の命を尊重しようとする。</li> <li>身近な事例を通して、権利と義務の大切さについて話し合う。</li> <li>いじめが重大な人権侵害であることを知り、いじめ等が起こった時、互いに協力して解決しようとする態度を身に付ける。</li> <li>相手の意見を聞き、また、自分の意見を積極的に述べることを通して、コミュニケーションを豊かにする技術・技能を学ぶ。</li> <li>公正な態度や思いやりの心を持って相手の立場を考え、自分と異なる意見や考えを尊重しようとする。</li> <li>集団活動に進んで参加するとともに、それぞれが自分の役割と責任について考え、協力し合って集団生活の向上に努めようとする。</li> <li>自分の個性や良さを認識し、伸ばそうとするとともに友達の個性や良さを発見しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの障がいの状況を知り、障がい者の自立への願いや思いを通して、その努力や苦勞に気付く。</li> <li>障がい者の願いや思いから、自ら決定することや、自立することの大切さを知り、互いに認め支え合おうとする。</li> <li>体験学習等を通して、障がい者が生活をする上で何が障壁となっているかを知るとともに、個々の状況に応じてサポートできる技術・技能を学ぶ。</li> <li>支援学級や支援学校等との交流を通して、障がい者とともに生きる社会の在り方について考える。</li> <li>自分の身の周りにおける障がい者に対する差別や偏見に対して自分の考えを持ち、なくすためにはどうしたらよいかを考え行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>差別や偏見の中、自由と平等を求めて生きてきた人々の生き方について歴史から学ぶ。</li> <li>今ある差別や偏見の苦しみを乗り越えようとしている人たちの姿から、基本的人権が尊重された社会の大切さを学ぶ。</li> <li>自分の身の周りにおける差別や不合理に対する自分の考えを持ち、なくしていこうとする。</li> <li>保護者や地域の人々の労働から、その価値、喜び、厳しさ、そして熟練技術について学ぶとともに、職業に対する偏見や誤った見方があることに気付き、話し合う。</li> <li>互いの人権を尊重しあうことの大切さを、自分の生活や生き方に生かそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と諸外国の関係について学び、自分の生活とのつながりを知る。</li> <li>世界には異なる言語・文化・生活・習慣・考え方などがあることを知るとともに、相互の違いや共通点を見つけ、多様な価値観や生き方を尊重する態度を身に付ける。</li> <li>在日外国人が日本で暮らす状況を知り、本名で生きる人々の思いについて考える。</li> <li>近年渡日し、日本に定住している外国人の子どもたちの思いや願いを知る。</li> <li>それぞれの国や地域には独自の文化や生活様式等があり、互いに尊重し、学び合うことを通して、自らの考えや生活を豊かにしていこうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育、科学、文化を通して、平和な国際社会の実現に向け活動しているユネスコの働きについて知る。</li> <li>ボランティア活動等を実際に体験することで、他者と協力し合い、互いの人権を尊重し合うことの大切さを知る。</li> <li>高齢者との触れ合いを通して、豊かな経験や技術について学ぶとともに、高齢者の願いや思いについて知り、積極的に関わろうとする。</li> <li>身近な環境問題に関心をもち、環境保全のために家庭や学校で自分たちができることについて考える。</li> <li>情報機器を使う際に、他の人の気持ちを考えるのが大切なこと、注意しなければならないことに気付く。</li> </ul>

資料 中学校における人権学習プログラム (人権教育推進プラン(大阪府教育庁：平成30年3月改定)より)

領域	男女平等	子どもの人権	障がい者の人権	同和問題(部落差別)	在日外国人の人権・国際理解	様々な人権問題
目標	<p>固定的な性別役割分担意識に捉われない生き方について考えるとともに、社会にある性差別を見抜き、男女平等を実現しようとする積極的な態度を身に付ける。</p>	<p>基本的人権の具体的内容を理解するとともに、人権侵害の問題点を考え、積極的に課題を解決しようとする態度を身に付ける。</p> <p>自己の個性や良さを認識し、自分らしさに対する自信を持てるよう努めるとともに、他者の個性や良さを理解し尊重する。</p>	<p>障がい者に対する社会の障壁について考えるとともに偏見や差別をなくし、ともに生きる社会を実現していこうとする積極的な態度を身に付ける。</p>	<p>同和問題(部落差別)を基本的人権に関わる課題として捉え、差別をなくそうとする積極的な態度を身に付ける。</p>	<p>在日外国人が日本で暮らす状況や歴史的経緯等を理解し、差別や偏見をなくそうするとともに、異なる文化を持つ人々と共に生きようとする積極的な態度を身に付ける。</p>	<p>これまでの人権学習で学んだことを生かして、様々な人権問題や新たに生じてきている人権問題を積極的に解決しようとする態度を身に付ける。</p>
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性別に捉われず、それぞれが自分の能力や適性を生かし、生き方を主体的に選択しようとする。</li> <li>・固定的な性別役割分担意識は、その時代の社会通念や文化によって作られたものであることを知り、払拭していこうとする態度を身に付ける。</li> <li>・「女子差別撤廃条約」や「男女雇用機会均等法」「男女共同参画社会基本法」等の趣旨や現在の状況について学び、男女平等の社会について考える。</li> <li>・セクシュアル・ハラスメントやDV(デートDV)は、個人としての尊厳や人権を侵害するものであることを学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の具体的内容を理解するとともに、人権侵害の具体的事例について知り、その問題点について話し合う。</li> <li>・「児童の権利に関する条約」の趣旨を、身の周りのことに結びつけて理解する。</li> <li>・他者との意見や考えの違いを理解する中で、自分の個性に気付く。</li> <li>・様々な活動に参加し、社会や集団における自分の果たすべき役割と責任について考え話し合う。</li> <li>・基本的人権を大切に社会を築くために、自分のできることを考えようとする。</li> <li>・自分の権利を主張するとともに、自分の役割と責任について、他者と意見を交換することにより、問題解決の方策を探ろうとする。</li> <li>・自分の良さや課題を客観的に見つめる中で、自分らしさを見だし、自分の興味・関心を大切にしながら、主体的な生き方を選択しようとする。</li> <li>・いじめ等の問題について意見交換することにより、他者の立場を理解するとともに、肯定的な人間関係を築こうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の自立への願いや思いを知り、ともに生きることの意味について考える。</li> <li>・仕事、スポーツ、文化活動、日常生活等において障がい者が社会参加することや自立することの意味を考える。</li> <li>・障がい者が生活する上で、何が障壁であるかを交流や疑似体験等を通して理解し、その障壁を取り除くための様々な工夫について考える。</li> <li>・障がい者が住みやすい社会は、全ての人にとって住みやすいことを理解し、安心して過ごせる学校や社会が実現できるよう、自分のできることを考え行動しようとする。</li> <li>・手話、点字、介助の方法等、積極的に障がい者とのコミュニケーションを深めるための技能について学ぼうとする態度を身に付ける。</li> <li>・障がいに対する差別や偏見をなくすための行動について自分の考えを持ち、どのような行動をすべきか議論する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働や生産、生活や文化の創造について、被差別部落の人々が担ってきた役割を歴史から学ぶ。</li> <li>・結婚や就職の際の「身元調べ」などの部落差別を乗り越えてきた人々の努力について知る。</li> <li>・同和問題(部落差別)と他の人権問題について話し合い、それぞれが持つ特徴や共通することがらに気付き、差別の本質やその解決に向けた取組について考え話し合う。</li> <li>・差別など日々の生活の中で起こる様々な問題を通して、不合理と感じたものについて話し合い、正していこうとする。</li> <li>・差別をなくそうとしてきた人の思いや生き方を知り、学んだことを自分の生活や生き方に主体的に生かそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸外国の異なる文化や生活等に触れ、多様な価値観や生き方があることを理解し、互いの文化を尊重する態度、共に生きていこうとする積極的な態度を身に付ける。</li> <li>・国際社会においては、様々な人権問題があることについて学ぶ。</li> <li>・在日外国人生徒が在籍している歴史的経緯や日本で暮らす状況を知るとともに、本名で生きることの意味を考える。</li> <li>・新たに渡日し日本に定住する外国人生徒の現状について知る。</li> <li>・在日外国人に対する差別や偏見をなくし、共に生きる社会を実現しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の保障や平和維持のための国連やユネスコが果たしてきた役割について知る。</li> <li>・高齢者介護の在り方について理解を深めるとともに、身近な問題として高齢者が生活しやすい社会について考える。</li> <li>・自然破壊等の環境問題について現状を知り、健康で文化的な生活と環境問題との関わりについて理解を深める。</li> <li>・HIV感染症やハンセン病等についての理解を深め、差別や偏見をなくしていこうとする。</li> <li>・インターネットの普及など情報化の進展と関連して、基本的人権を尊重する観点から、個人のプライバシーを保護するとともに、人権侵害を防止しようとする。</li> <li>・性的マイノリティに対する理解を深め、自他の違いを認め合い、尊重し合う態度を身に付ける。</li> <li>・生命の尊重や自然環境の保全に興味をもち、ボランティアなどに取り組もうとする。</li> <li>・人権問題の課題について総合的に捉え、それぞれの課題を関連づけて理解しようとする。</li> </ul>